

## 令和2年度 日南市立榎原中学校 学校関係者評価書

【学校経営ビジョン】 学校の教育目標具現化に向けて教職員の資質向上を図り、保護者や地域社会と連携を深めながら子どもとの知・徳・体バランスのとれた成長と、将来にわたってたくましく生きていく力を育む教育活動を推進する。

4段階評価 4：達成（期待以上） 3：ほぼ達成（ほぼ期待どおり） 2：不十分（やや期待を下回る） 1：改善を要する（期待を下回る）

評価項目	評価指標	自己評価	成果（○）・課題（●）及び改善策（★）	総合評価	期待程度	学校関係者コメント	
感動する心、自他の命や人権を尊重する心、共生や残虐の心など豊かな人間性を育む。	1 全教育活動を通じた道徳教育の展開と心の教育の充実	生徒	3.9	○学習と副担が交代で道徳の授業を行い、学年の全職員が関わることができた。 ○道徳の時間を適切且つ計画的に活用することができ、生徒の道徳性の向上を図ることができた。 ●喫煙県民のちの教育週間に合わせて全学年で性教育を実施した。 ●授業中の生徒の様子などを職員間で共有する場が少なかった。 ★学期に1回は道徳に関する研修を行い、生徒の一人一人の道徳性などの共有を図りたい。	3.7	0.0	（全般）今年一年間コロナの中先生、生徒に評価することは出来ない。いろいろな制限の中、学校活動が出来ているだけありがたい。今年度は例年と同じような評価は出来ない。生徒、先生、保護者、今年度はよく頑張っていると思う。 ① 生徒、保護者ともに思いやりについて充実していると思われる。先生の評価が厳しいようだ。 ② 今年度は、偽善的な道徳心をふりかざしたマスク警察等の言葉が流行った。正しい道徳教育をお願いしたい。 ③ 生徒の評価に比べて保護者の評価が低いようである。私個人も含めて「キャリア教育」が十分に理解できていない。生徒、保護者一体となった啓発が必要なのではないか。 ④ 世界ではどんな人権問題があるとされているのか。日本では残念ながらあまり話題にならない。人権についてしっかりとした考えがもてるよう指導してほしい。 ⑤ 先生を大切に個々に合わせた指導ができていていると思う。保護者の期待にもう少し応えられるとよい。 ⑥ 保護者の評価が低い部分の改善が必要。他者との優劣の比較のため保護者の評価が低いのか。個々の達成感が大事だと考える。 ⑦ 小規模校ならではの生徒と先生のコミュニケーションができていていると思う。 ⑧ 小規模校の利点を最大限生かして、学習や学校活動において生徒全員が主役になれる（なりたいと思える）取組を今後も深めていってほしい。
		保護者	3.6				
		教師	3.5				
	2 人権・福祉教育、キャリア教育、平和教育、体験活動、ボランティア活動の推進	生徒	3.6	○平和集会以て朗読劇を通して平和について考えることができた。 ○朝のボランティア活動には全校生徒でよく取り組んでいた。 ●キャリア教育の充実を図るための家庭や地域との連携が十分にできなかった。 ●校外での福祉体験活動や外部への講師依頼等がコロナ禍の影響でできなかった。 ★今年度は、全学年でキャリアパスポートを活用してキャリア教育をさらに充実させたい。	3.3	0.0	
		保護者	3.2				
		教師	3.2				
	3 読書に親しむ生活環境づくり	生徒	3.1	○3年生以外、ほとんどの生徒が年間10冊以上読んでいる。 ○おすめの本のPOPを作成したり、ビブリオバトルを実施したりして読書意欲の啓発を行った。 ○図書司書が月2回来校して、図書室の本の整理や管理を行ってもらった。 ★今年度も本年度の読書活動を継続して実施していきたい。	3.2	0.0	
		保護者	2.9				
		教師	3.6				
	「わかる」、「できる」を実感できる授業実践により、学ぶ楽しさや進んで学ぼうとする意欲を育てる。	4 基礎基本の定着と思考力・表現力の向上	生徒	3.5	○一人1授業研を通して個人・まとめの工夫を行い、つながりのある授業への改善につながった。 ○授業中の授業スタイルを全職員で共通実践することにより、生徒の学力向上につながった。 ★本年度の主題研を次年度も継続して全職員で取り組んでいきたい。	3.3	
保護者			3.2				
教師			3.2				
5 同僚性を活かし、教職員の指導力並びに人間力の向上を図る研修の充実		生徒	3.4	○一人1授業研には職員が積極的に取り組み、同僚性を生かした研修を実施することができた。 ●今年度はコロナ禍の影響もあり、校外の研修会や研究会へ積極的に参加することができなかった。 ★次年度は研修センターでの希望研修に積極的な参加を呼びかけ、校内研修の充実を図りたい。	3.4	0.0	
		保護者	3.4				
		教師	3.4				
6 園にのじた学習支援体制（個別指導）の整備		生徒	3.3	○毎週金曜日に生徒理解朝報を実施し、生徒一人一人の状況を共通理解することができた。 ●個別な指導が必要な生徒に対して、適切な指導や助言を全職員でもっと工夫すべきであった。 ★生徒一人一人の能力や特性に応じた具体的な手立てを考えて全職員で取り組んでいきたい。	3.2	0.0	
		保護者	2.9				
		教師	3.4				
7 深める時間や確かめる時間を生かした自ら学ぶ意欲の向上		生徒	3.5	○各教科で工夫して実施することができた。 ●活用問題が解かしているが、日商チャレンジは使用できなかった。 ★榎原中の利点である深める時間や確かめる時間の取組をさらに充実させていきたい。	3.4	0.0	
	保護者	3.2					
	教師	3.2					
8 疑問をもち探究して解決しようとする姿勢の育成	生徒	3.4	○学校行事等では一人一人の生徒にスポットをあてることができ、生徒の自信につながった。 ★授業を通して課題解決学習や発展的な学習活動の充実を図りたい。	3.3	0.0		
	保護者	3.1					
	教師	3.1					
心身の健康増進と体力の向上を図る。	9 生徒会活動の充実	生徒	3.6	○全校生徒が少なくなく、一人一人の生徒がよく頑張っていた。 ○生徒会担当を中心に全職員で生徒会活動をサポートすることができた。 ★生徒数の減少に伴い、生徒会組織や生徒会活動の見直しを図っていく必要がある。	3.4	0.0	⑨ 今後も生徒の自主性に期待している。 ⑩ 生徒が個々の役割を理解し、それぞれが責任をもって行動できたと思う。 ⑪ 小中連携の中で、小学生があこがれるお兄さん、お姉さん像とどんなものなのかを考え実践してもらいたい。 ⑫ 部活動について保護者の理解がある様子がうかがえる。 ⑬ 生徒、保護者ともに先生方に相談できる雰囲気づくりが必要。 ⑭ 生徒・保護者の評価と先生方の評価に開きがある。特に保護者の評価が厳しい。評価の内容は今回の資料では分からないが、記載されている改善策で本当に大丈夫なのか。
		保護者	3.5				
		教師	3.2				
	10 体育的行事や部活動を通じた体力の向上	生徒	3.8	○運動会や持久走大会は、小学校と連携して取り組むことができた。 ○部活動は部員が少ない中で熱心に活動することができた。 ●サーキットトレーニングがうまくできなかった。 ★体育の授業を通して体力向上を図ってほしい。	3.6	0.0	
		保護者	3.5				
		教師	3.4				
	11 教育相談の充実や食育・性教育・安全教育の推進	生徒	3.0	○教育相談は学期に1回実施することができた。 ○性教育は養護教諭と協力して実施することができた。 ○食育活動は栄養職員と連携して全学年で実施することができた。 ●梅田学園と連携した交通教室を実施することができなかった。 ★次年度は、従来通りの交通教室が実施できるように計画したい。	3.0	0.0	
		保護者	2.6				
		教師	3.5				
	12 「求食」による感謝の心の育成	生徒	3.3	○給食感謝集会は2月に実施予定である。 ●弁当の日を複数回実施することができなかった。 ★弁当の日を通して食に対する意識をさらに高めたい。	3.2	0.0	
		保護者	3.2				
		教師	3.1				
保護者や地域社会と連携し、地域に根ざした教育を推進する。	13 総合的な学習の時間の充実	生徒	3.8	●直轄体験学習や七夕まつりなどの校外活動を実施することができなかった。 ●コロナ禍で年間計画の急な変更を迫られ、行事だけの取組となってしまった。 ★行事の実施だけでなく、道徳など他の教育活動との関連づけを図ってほしい。	3.4	0.0	⑬ アフターコロナ時の活動に期待する。 ⑭ コロナの影響で沢山の行事が中止となり残念だったが、その中で活動できることを精一杯頑張っているとと思う。 ⑮ 特色ある学校として今後も連携していきたいと思う。 ⑯ 地域の方も通信で学校の様子が変わると聞いている。 ⑰ コロナ禍の中で行動が予定通り勤めることができなく申し訳なく思う。 ⑱ 地域活動にとって中学生の活躍は欠かせない。コロナ禍（又はウィズコロナ）の状況は変わらないと思うので生徒の安全第一を前提とした取組を検討してほしい。 ⑲ 保護者の低評価についてはSNSの共通理解が必要かも。 ⑳ 安心メールが役に立っていないと評価された保護者がいる。安心メールの運用方法の認識のすしか。 ㉑ SNSを活用した情報提供に来年度は期待したい。
		保護者	3.3				
		教師	3.1				
	14 小中一貫教育・連携教育の充実・推進	生徒	3.1	●夏の合同研修を実施することができなかった。 ●知・徳・体の各組の取組が思うようにならなかった。 ●日頃から小中間の情報交換を行い、交流を図ってほしい。	3.2	0.0	
		保護者	3.2				
		教師	3.1				
	15 通信等を活用した積極的な情報発信	生徒	3.1	○学級通信や学校だよりを定期的に発行することができた。 ●学校の行事等をフェイスブックスする機会が少なかった。 ★次年度は積極的にフェイスブックスを行い、情報発信に努めたい。	3.5	0.0	
		保護者	3.2				
		教師	3.7				
	16 地域行事への積極的参画	生徒	3.8	○地域コーディネーターとはよく連携して活動することができた。 ●コロナ禍での校外活動は実施が難しかった。 ★制限がある中でも校外での地域活動が実施できるよう工夫をしていきたい。	3.3	0.0	
保護者		3.3					
教師		2.8					
17 SNSを活用した積極的な情報提供	生徒	3.1	●安心メールでは必要最小限の情報しか発信することができなかった。 ●ホームページを定期的に更新することができなかった。 ★安心メールを活用して、保護者に親切丁寧な情報発信ができるように努めたい。	3.4	0.0		
	保護者	3.2					
	教師	3.6					
榎原中に入学者（させでよかったか）	生徒	3.8	★全生徒・全保護者に満足してもらえるような榎原中ならではの教育をさらに充実させていきたい。	3.6	0.0	● 保護者の低評価が気になる。 ● 良くなかったと評価している生徒、保護者がいるのは非常に残念。その様な厳しい意見を積極的に改善につなげる学校運営に取り組んでほしい。 ● 榎原中の特徴が十分発揮出来ていると思うが、これからも長所を伸ばす活動を期待する。 ● 保護者にそう思わない人がいることに少し驚いている。引き続き尽力をお願いしたい。	
	保護者	3.4					
	教師	3.4					